

キウイフルーツ情報 ～フルメット処理について～

2020.6.2

JA 中野市園芸課

毎日のお仕事お疲れさまです。今年度の摘蕾講習会は講習会自粛のため開催を中止いたします。そのため、フルメット処理についての資料を配布いたします。

今年度も肥大の良い高品質なキウイを目指しましょう！

尚、ご不明な点は担当技術員までご連絡ください。

キウイF 担当：堀内 由香

Tel 090-1867-2512

【フルメット処理】

① 処理時期目安

・赤肉・黄肉系品種（レインボーレッド／ゴールド）

満開日	20日後	25日後	30日後
5/18	6/7	6/12	6/17
5/19	6/8	6/13	6/18
5/20	6/9	6/14	6/19
5/21	6/10	6/15	6/20

・緑肉系品種（ハイワード）

開花予想：5/30～

満開日	20日後	25日後	30日後
6/1	6/21	6/26	7/1
6/2	6/22	6/27	7/2
6/3	6/23	6/28	7/3
6/4	6/24	6/29	7/4

② 処理方法 処理は年1回だけです。時期に応じて濃度を調整してください。

処理時期	処理濃度	処理方法
満開 20～25日後	2.5ppm (水4ℓにピン1本10ml)	果実浸漬処理
満開 25～30日後	5ppm (水2ℓにピン1本10ml)	果実浸漬処理

③ 処理上の注意

- ・処理後に降雨がない日を選ぶ。乾ききる前の降雨で効果が低下する。
- ・着果量が多いと樹体への負担が過剰となり、樹勢低下や隔年結果の原因になりやすい。
⇒樹勢に応じた処理と適性着果量に摘果を行う必要がある。
- ・処理濃度が高かったり、処理時期が早く、過度に果実が肥大すると、変形したり糖度が低下するなどの問題を生じやすい。
- ・奇形果として、果頂部の突出や扁平果、果梗部の亀裂の発生などがあり、果肉の軟化や落果なども生じやすいので注意が必要である。

【新梢管理】

⇒一定の明るさを保つよう管理する

② 7月上旬頃より、2～3回新梢管理を行ない、棚面の明るさを保つ。

② その後も、新梢の巻き付き部や徒長枝の整理を行う。